

パンデミック！？

院長

新型インフルエンザの世界的流行(パンデミック)がマスクミを賑わせています。

メキシコから始まった新型インフルエンザ(H1N1)の流行は、5月6日現在患者(確定)は21カ国にわたり、患者数は1490例になりました。患者数が多いのは、メキシコ822例、アメリカ403例、カナダ140例で、3カ国で90%以上を占めています。その他スペイン57例、英国27例、ドイツ9例の順です。死亡数はメキシコ29例、アメリカ1例の計30例で、死亡率(致死率)は2%ですが、メキシコが3.5%、アメリカは0.3%となっています。

少し基礎的なことから。まずは新型インフルエンザとは？。厚労省のQ&Aの解説では、「新型インフルエンザウイルスとは、動物のインフルエンザウイルスが、人の体内で増えることができるように変化し、人から人へと容易に感染できるようになったもので、このウイルスが感染して起こる疾患を新型インフルエンザといいます」。分かるような分からないような説明です。何が問題になるかという、新型インフルエンザウイルスには、ほとんどの人が免疫を持たないということが重要です。従来のインフルエンザ(季節型インフルエンザ)は、変異はあるにしてもある程度の人たちは免疫を持ち合わせています。ということは、新型インフルエンザは誰でもかかってしまう可能性があるのです。

新型インフルエンザは、高い致死率なのでしょうか。新型という、鳥インフルエンザが引き合いに出されます。確かに高病原性鳥インフルエンザA(H5N1)は、WHOの報告(2009.4)によると2003年からの患者数は421人、死亡数は257人(致死率61%)と、とんでもない高い致死率です。しかし、すべての新型ウイルスが強毒性とは限りません。実際、先に示したようにH1N1の致死率は、専門家の間では季節型とかわりはないとの見解です。季節型の死亡率は、直接死亡が0.15~0.2%程度、超過死亡(インフルエンザが原因と推定される肺炎などによる死亡)は1%程度と考えられています。もうひとつは感染力です。人と人の中で感染が広がるのが問題で、従来はフェーズ3でしたが、4月27日にフェーズ4、4月30日には「かなりの数のヒト-ヒト感染があることの証拠がある」のフェーズ5に引き上げられました。致死率が低くても、感染者が多ければ死亡者数も多くなるという、大きな問題を抱えているのです。季節型イ

ンフルエンザでは毎年1000万人が罹患するといわれています。感染者が多くなればなるほど、問題は大きくなるのです。

しかし、まだまだわからないこともたくさんあります。メキシコでの死亡率の高さの理由もはっきりしていません。また、感染者の多くは若い世代(30~40代)で、60歳以上の患者は少なく、何らかの免疫を持っている可能性も示唆されています。これらに関しては、今後の解明を待つしかありません。

一番の問題は、日本で流行するかどうかです。遅かれ早かれ、日本でも流行すると考えるのが妥当です。ただし、現時点でどの程度の流行になるのかは、誰にも分かりません。むしろ、これからの季節ではインフルエンザウイルスにとって生存しにくい時期(日本では低温と乾燥が流行の条件)なので、大きな流行にはならないと考えられています。1918年に流行が始まり死者が2000万人以上といわれるスペインかぜは、時間の経過とともに病原性が強くなったといわれています。同じような考え方をすると、初期の流行は比較的小さく致死率も低く、一旦終息した後秋頃からの大流行が要注意ということも言われています。

H1N1は迅速検査で診断が可能(新型と同じH1N1のAソ連型の区別はつきませんが)であり、タミフルの効果も確認されています。従来のワクチンは全く効果はありませんが、新しいワクチンの開発がなされています。製造ラインの問題で季節型と新型のワクチンをどのような割合で作るかという問題はあるものの、冬に間にあうようにワクチン作りがすすめられていくものと思います。ただ流言飛語による不安で需要が極端に増えるような場合には、ワクチン不足というパニックが引き起こされるかも知れません。

ということであればいたずらに心配せずに、落ち着いて対処することが望めます。そして個人でできる予防法を、しっかり励行することが大切です。特に咳エチケットが推奨されているので、次ページに解説(厚労省)を示します。その他、従来から言われているような注意点(厚労省)を示します。

- ・帰宅後や不特定多数の者が触るようなものに触れた後の手洗い・うがいを日常的に行うこと
- ・手洗いは、石鹸を用いて最低15秒以上行うことが望ましく、洗った後は、清潔な布やペーパータオル等で水を十分に拭き取ること
- ・感染者の2メートル以内に近づかないようにすること
- ・流行地への渡航、人混みや繁華街への不要不急な外出を控えること
- ・十分に休養をとり、体力や抵抗力を高め、日頃からバランスよく栄養をとり、規則的な生活をし、感染しにくい状態を保つこと

最後に、正確な情報を収集し、噂や誤った情報に混乱させられないように、落ち着いて対応することの重要性を強調しておきます。



5月のお知らせ

- ・臨時休診のお知らせ
スタッフの健診のため
5月21日(木) 休診
- ・医学部学生 実習
5月29日(金)
ご協力を 願います

読者の広場

先月はどういう訳か、たった3通だけのメールでした。あまり少ないとちょっと心配です。最初は県外広報担当の京都の早坂さんからのメールです。「川村先生、ご無沙汰しております。お元気でしょうか？@京都の早坂です～。また、新年度がスタート致しました。今年も1年京都にstayする事になりました。ソロソロ北上かとも思いましたが・・・相変わらず、多忙な毎日を過ごされているかと思えます～。先生をはじめ、スタッフの皆さんも変わらずでしょうか。私は先月、男の子(嘉音哉かねやクン)を出産し2児の母になりました☆娘、真奈穂は年中さんになりました(^_^、早いですよねえ～。偶然にも、産院でお世話になった助産師さん二人が仙台出身の方で、私は仙台に縁があるなあ～と思わずにはいられませんでした！先生、そのうち二人を診てもらう日が来ると思いますので・・・頭の片隅にでも、覚えて下さいネー(^0^)/全然話は変わりますが・・・先日、関西ローカル番組でhibワクチンが少なく、入荷待ち～とTVで放送してました。今予約をしても接種まで2～3か月ほど待つらしいのですが(大阪での事です)産後の保健所からの家庭訪問保健師さんは、特に接種しなくても～...とか話してましたが・・・悩んでいるところです。仙台でも同じくワクチン不足や入荷待ち状態でしょうか？近くの小児科さんでは、スグ出来るらしい...と友達も言っていますが未だ誰も接種しておらず。最終的には、親の判断かと思いますが、接種するべきかどうするべきか...ひとまず、私は真奈の時に頂いた、予防接種のリストをもとに、息子の計画を立てようかと思えます。京都の小児科では、このようなリストなんて無いので、流石かわむらこどもクリニック!!!と思えます☆多来週からはGWです。今年もダイビング・サーフィン・オテカケでしよーうか～(*^。^*)私も早く仙台へ行きたいです。お元気で☆)。メールが少ない時の1通、本当にありがたく、うれしい限りです。また仙台に戻ってきて、きょうだい2人をしっかり診させてください。頭の片隅ではなく、真ん中に叩き込んでおきますから(笑)。Hibワクチンは仙台でも同じような状況です。予防接種に対する考え方は、病気にかかって後悔するよりは、予防できるものは予防する。それが基本的な考えです。予防接種の予定表(リスト)、当たり前だと思っていました。離れて初めてわかる、かわむらこどもクリニックの良さですか(笑)。早坂さんは、在仙時代からか良さを分かってくれましたよね。G.W.さすがに鋭いですね。今年(もかな?)、友人を頼ってセブ島に行ってきました。旅行顛末記は、またの機会にでも。ちょっと大変でした(笑)。続いては青葉区の鈴木さんからメールです。「4月28日に1日中診療していただいた鈴木晴斗の父です。おかげさまで晴斗も元気になり、今朝は自分で寝室からリビングまで歩いて来てお粥をオカワリしてくれました。お守り代わりにいただいた紹介状を使うこともなく、27日の夜から28日と自宅で安静にしてるだけで済みました。まだまだ、これからも先生や病院のスタッフの皆さんにはお世話になると思いますが、とりあえずお礼までと思いメールしました。では良い休日を。。。まずは、お父さんからというのが、うれしいですね。お父さんが一生懸命子育てを手伝ってくれている証拠です。G.W.のような長い休みがあると、「休みにになったらあとは知りません」という訳にはいきません。その後のフォローもかかりつけ医の役割です。点滴が必要な心配なお子さんには、休み中に具合が悪くなったり、心配が強くなったりした場合、いつでも受診できるように紹介状を持たせて帰します。もちろん緊急に入院するほどでもない状況なので、「お守りだよ」といって渡しています。紹介状をもらって、いつでも受診出来ると思うと、親御さんに余裕が生まれます。その余裕が、子どもにもいい影響を与えていると思っています。紹介状を使わずに、お守りで本当に良かったです。最後の「良い休日を」も、うれしいメールでした。

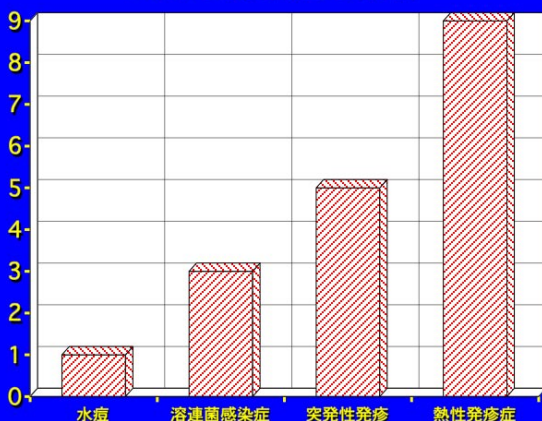


Hib ワクチンに関するお知らせ

12月からHibワクチンの予約を受け付けていますが、相変わらずワクチン不足の状態が続いています。予約を受け付けていますが、接種時期が未定です。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。

4月の感染症の集計



水痘は施設での流行が終息して、先月は僅か1人のみです。溶連菌感染症も減少しています。グラフに示していませんが、インフルエンザも減少し、3月の1/10程度で、中旬以降はほとんどみられませんでした。嘔吐下痢症も減少。咳が止りにくいお子さんや喘息が少し増えてきました。

「咳エチケット」

風邪などで咳やくしゃみが出る時に、他人に感染させないためのエチケットである。感染者がウイルスを含んだ飛沫を発生することにより周囲の人に感染させないように、咳エチケットを徹底することが重要である。

<方法>

咳やくしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻を被い、他の人から顔をそむけ、できる限り1-2メートル以上離れる。ティッシュなどが無い場合は、口を前腕部(袖口)でおさえて極力、飛沫が拡散しないようにする。前腕部で押さえるのは、他の場所に触れることが少ないため、接触感染の機会を低減することができるからである。

呼吸器系分泌物(鼻汁・痰など)を含んだティッシュは、すぐゴミ箱に捨てる。

咳やくしゃみをする際に押さえた手や腕は、その後直ちに洗うべきであるが、接触感染の原因にならないよう、手を洗う前に不必要に周囲に触れないよう注意する。手を洗う場所がないことに備えて、携行できる速乾性擦式消毒用アルコール製剤あるいはバック入りのアルコール綿を用意しておくことが推奨される。

咳をしている人にマスクの着用を積極的に促す。マスクを適切に着用することによって、飛沫の拡散を防ぐことができる。

編集後記

長い休暇にご協力を頂き、ありがとうございました。旅行先で、トラブルに見舞われましたが(いずれ機会があれば記事にしたいと思っています)、ちゃんとリフレッシュしてきました。

新型インフルエンザ、どうなるのでしょうか。これからの流行より、第二波(まだ一波も来てませんが)とワクチンの争奪戦が心配です。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』
Ⅲ期(中学1年生相当)、Ⅳ期(高校3年生相当)も忘れずに!